

別記様式第1号（第4条関係）

中間前金払認定請求書

令和5年10月7日

浜中町長 様

受注者 住所 北海道厚岸郡浜中町〇〇〇  
氏名 〇〇建設株式会社  
代表取締役 〇〇〇〇 印

次の工事について、中間前金払を受けたいので、浜中町前金払実施要綱第4条第2項の規定により、認定を請求します。

記

工事名	令和5年度 〇〇建設工事
工事場所	浜中町〇〇
契約金額	50,000,000円 (当該会計年度のでき形部分等予定額 円)
工期	令和5年7月15日から令和5年12月27日まで (当該会計年度の工期 年 月 日から 年 月 日まで)

添付書類 工事履行報告書（別記様式第2号）

(注)

2年度以上にわたる工事の場合は、( ) 内に当該会計年度のでき形部分等予定額及び工期を記載すること。

工事履行報告書

作成日 令和5年10月7日

工事名	令和5年度 ○○建設工事
工期	令和5年7月15日から令和5年12月27日まで (工期の1/2経過日 令和5年10月6日)

月別	予定工程 % ( ) は工程変更後	実施工程
令和5年 7月	15.5% ( )	16.5%
令和5年 8月	33.0% ( )	35.0%
令和5年 9月	48.5% ( )	51.5%
令和5年10月	55.4% ( )	58.4%
令和5年11月	77.5% ( )	
令和5年12月	100.0% ( )	
年 月	% ( )	%
年 月	% ( )	%
年 月	% ( )	%
年 月	% ( )	%

2年度以上にわたる工事の場合は、当該会計年度の工期と1/2経過日を記載する。

実施工程には、報告時点までに実施した工程の割合を記載する。

予定工程には、工事工程表を基に予定している工程の割合を記載する。ただし、工期の1/2の属する月のみ工期の1/2経過時点での予定工程を記載する。  
この記載例の場合、中間日の属する10月のみ10月6日終了時点での予定工程を記載すること。

実施工程に記載されたパーセンテージが、①及び②をどちらも上回る数値であれば、要件を満たすものとなる。

- ・工期 : 165日
- ・工期の2分の1 : 83日 (2分の1経過日 : 10月6日)
- ・工程表により工期の2分の1 (10月6日) を経過するまでに実施すべき作業量 : 55.4% (①)
- ・既に行われた作業に要する経費が2分の1以上 : 50.0% (②)

なお、2年度にわたる工事 (それぞれの年度ででき形が設定されている場合) は、当該会計年度の工期、予定工程を記載する。

- ・工期の考え方 : 初年度であれば着工日～3月31日まで、翌年度であれば4月1日～完了日まで
- ・工程の考え方 : それぞれの年度のでき形を100%として計算すること  
例えば、当該年度のでき形が40%の場合は、40%を100%として割合を計算しな  
おすこと。

要件をすべて満たしていれば工事監督員が押印する。

工事監督員	工事監督員
印	印

現場代理人	主任(監理)技術者
印	印